

(令和7年6月10日 午後3時20分 開始)

○議員（河野 禎明議員） 傍聴席の方、本当に長い間ありがとうございます。皆さんがいてくれるおかげで、私も一般質問を頑張ってできます。今考えました。傍聴者の方、職員の方、この新しい新人議員を含めた町議の方、この方たちがいると、川南は永遠に不滅じゃないでしょうか。そう思いました。質問に移りたいと思います。

ちょっと、1番に中学校問題、川南町立中学校の統合に関わる基本方針について、2番、危険通学路について、3番、長寿会への町の補助金について、これを下の席で質問したいと思うんですけど、ちょっと順番を、中学校問題は長引くということが予想されるので、先に2番の危険通学路、3番の長寿会のことを先に質問したいと思います。では、下の質問席からしたいと思います。

危険通学路について、唐瀬・登り口線、通学路が一部狭く危険なので改善できないかという要望が来ているんですが、場所は更生橋、川南小学校から川南病院のほうに1キロぐらい行くんでしょうか、更生橋があります。更生橋を渡って斜めに道路が通っています。その奥には新しい住宅が20軒ぐらいあります。その小学生らが、中学生もですけど、通学するときに、私が見ていると、朝、こちらは県道、川南病院に行く道路は広いです。急に狭くなっているんです。その狭い道路で見ていると、自動車が通ると、小学生、中学生、中学生は自転車を降りて、小学生は、ちょっと道の横に車を避けるような形で、車の通過を待っています。

こんな危険な通学路は何とかなしいといけないと思いますが、これはどなたが答えていただけますでしょうか。

○建設課長（黒木 誠一君） 危険通学路についての御質問ですが、議員のおっしゃるとおり、県道尾鈴川南停車場線の更生橋付近に隣接する町道、唐瀬・登り口線は、近隣は近年宅地分譲が進んでおりまして、狭いところで幅員約3メートルの歩道のない町道です。歩道設置を伴う大規模な改良工事は、補助事業により対応するしかありません。現在、下野田・勝司ヶ別府線、中里・野田原線、小池・西ノ別府線の改良工事を進めております。今後も、交通量、通学路としての利用状況及び近隣住民や学校等の要望を考慮し、優先順位をつけて整備していきたいと考えています。

また、すぐにできる対応としましては、老人ホーム福寿園側の道路、唐瀬・市納線へ迂回する方法もあると考えています。私がこの迂回路を夕方歩いてみましたが、狭い区間は交通量が少なく、福寿園側の道路まで出ますと歩道が整備されております。川南小学校までで比較しますと、時間的に変わらないので、利用していただきたいと思います。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 本当に対応していただいて、本当は道路拡張を急いでほしいんですけど、今、取りあえず、もし事故が起きたら大変な取り返しがつかないことが起きますから、その迂回路、今新しい、そこをぜひ川小とかそういう中学校とも話し合って、そこを子どもさんたちが通学できるようにしてください。これはよろしく願いしておきます。

次、3番目なんです。この長寿会、私たちは新菅長寿会です。私たちの新菅長寿会は約60名ぐらいいます。そして、私、この前、総会のときにびっくりしたんですけど、町が町の長寿会のほうに補助金を出しているわけですね。で、そこの町の長寿会から、町内に長寿会の団体が20か30あると思うんですけど、長寿会から分配されてきているわけですね、補助金が。それが4万5,600円だったんです。

それで、二十数年前からこれが変わってないというのが、これ不思議でたまらないんですが、これはどなたか、お答えできる方はお願いします。

○福祉課長（河野 賢二君） ただいまの御質問にお答えしたいと思います。

20年以上変わってないかは、ちょっと資料がそこまでなかったものですから、そこまでは分からないんですが、今、議員の言われたとおり、町からは長寿会の連合会に対して、連合会の運営費、あと今言われた各長寿会への分配される補助金が、今は17長寿会ございます。あと会場使用料、その合計を長寿会連合会のほうに補助金として今出しているような状況でございます。

その配分方法については、連合会のほうで決めているというふうに考えておりますので、その辺は連合会のほうとまた話を進めていきたいなと思っております。

以上でございます。

○議員（河野 禎明議員） 町の長寿会の連合会は、17団体に対して均等に分配しているんですね。だから、10名の長寿会のところでも4万5,600円、私たちは60名近くになっても4万5,600円。こうなると、ちょっと運営が厳しいということが起きているんです。それでやはり、もう20年間ぐらいこの金額が変わらないというのは、幾ら何でも、これはちょっと町長にこの御決断も含めてお願いしたいと思うんですけど、少し増額のほうで検討していただけないでしょうか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えいたします。

私も町長になって初めて、各長寿会17ありますが、13長寿会に参加させていただきました。ただ、挨拶して移動するということもありましたし、最後まで、総会まで含めていたかというのは無理なところもありました。中で、各長寿会の皆様が掲げている「のぼそう！健康寿命」、それから「担おう！地域づくり」、この大きなテーマを掲げて各長寿会が真摯に取り組んでいらっしゃるということに対しては、非常に感謝を申し上げたいと思っています。地域地域でいろんな地域のよさを出しながら、花いっぱい運動であったり、百歳体操であったり、いろんな活動を起こされています。ボランティアもです。

ですから、私がお伺いしての、多分、総会までいなかったことが多かったからかもしれませんが。そういったお金に関してのことは、ちょっとすみません、誠に申し訳ないんですが、その場でお伺いしていませんので、ただし、今、担当課長も言いました、長寿会連合会も含めて話の上でということで検討されると承知しております。

一番大事な町民の健康を維持するということに対しては、様々な取組が行われております。このことによって、間違いなく長寿会会員の健康増進ということにしっかりと功績を残していると思いますので、引き続き活動を、また長寿会と接する機会というのはこの総会しかないんですよ。自治公民館長会は毎月1回ありますので。ただ、そういった中で今後いろんな御意見があれば、賜っていきたいと思います。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 町長、鶴の一声。長寿会ですよ、これ活発に活動したらね、本当に介護を受けなくても済む人が増える。あとグラウンドゴルフも百歳体操もですけど、そういうものを全部ひっくるめて、本当に介護保険なんかを大切に使うには、こういう活動が大事なんです。この4万5,600円はね、60名ぐらいの会員は厳しいんですよ。だから、増額を鶴の一声でぜひお願いしたいと思います。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えいたします。

河野議員が質問の中で長寿会、この存在という意義は私もしっかりと理解しているつもりです。今後は担当課としてしっかりと検討して進めてまいります。ここで幾らとか、どうかという話は、ちょっと非常に厳しいと思っていますので、前向きに検討してまいります。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 非常に前向きなお答えを頂き、ありがたくと思っています。次に進みたいと思います。

川南町立中学校の統合に関わる基本方針についてお伺いしたいと思います。

これは主に教育長にお答えを頂くことになると思うんですが、1番目です、ちょっと最初に、去年の中学校のアンケートがありました。私たち議員に説明においでになっていただきました。そのときに、唐中で統合しますか、2番、国中で統合しますか、3番、唐中と国中を使いますか、4番目、新しい中学校を希望しますかという4項目じゃなかったかと思うんです。それで、私は、その中に「小中一貫校を希望しますか」という項目を入れてくださいということをお願いしました。これは全く入れてもらっても問題のないアンケートですから、町民がどんなふうに考えているのか、全世帯に配ったアンケートなんです。ものすごいチャンスなんです。ここで意見を拾うのが、一番、教育委員会、行政にとっても大事なところなんです。

そこで、なぜ小中一貫校の項目を外したんでしょうか、お答えください。

○教育長（平野 博康君） 昨年12月に行ったアンケートのことだというふうに思います

けれども、アンケート項目の選択肢の中に小中一貫校がなかったのはなぜかという御質問かと思うんですけども、大変申し訳ありませんけれども、私のほうは把握しておりません。申し訳ありません。

○議員（河野 禎明議員） 教育長、把握していませんと言われると、私たち説明を受けたのは何だったのかなと。私はそのとき言いましたよ、小中一貫校をこの項目に入れてくださいと。外されたんですよ。

もう一度お答えください。なぜ外したんですか。誰が外したんですか。

○教育長（平野 博康君） 私が教育長のお話を頂いて就任したのが12月の26日であります。その時点ではもう既にアンケート調査が終わっておりまして、私のほうはもう結果を見たという状況でありますので、大変申し訳ありませんけれども、そのアンケート作成に当たった経緯については、先ほど申し上げたように全く分からないというところでございます。

○議員（河野 禎明議員） 申し訳ありませんでした。教育長の就任の時期が、それはもうあれですね、外したのが誰かは大体分かりますから、いいですけど。

そのアンケートのコメント欄に、小中一貫校の希望が350ぐらいたしかあったと思うんですけど、これを教育長は非常に重要視されたということを知っていて、私もこれはすごいことだなと思います。これ、項目の中にももし小中一貫校が入っていたら、トップだったかもしれないんです、これは。項目に入れてなくて、下のコメント欄に小中一貫校を望むというのが350近くあったとしたら、もっとそれを望む人はいたかと思います。

そして、私は、このアンケートの返答率がちょっと少ないな、全世帯に出したのに少ないなと思って考えたんです。なぜかと言ったら、保育園の保護者とか若い人、小学生の方、中学校のことだけ来てるから、小学校がここに入っていれば、ちょっと返答率が高くなったと思うんですけど、中学校だけだから、そこをちょっと何か無視されたのか、ちょっとそこが返答率の原因になったのではないかと思います。

そうですね、教育長の就任が12月ですから、なかなか難しいですね。この基本方針を作成されたのは、教育長はこれにはちゃんと関わりはあるんですか、お願いします。

○教育長（平野 博康君） その先ほど12月に行ったアンケート調査の結果が、詳細な部分も含めて2月に分かりましたので、それを基に教育委員の勉強会を開催し、最終的にそれを取りまとめたのが、5月に出させていただきました基本方針ということになりますので、当然関わっております。

○議員（河野 禎明議員） この基本方針、私はこれ何回も読みましたね。ここは難しいところだな。ちょっと下のほうなんです。「以上のことから、中学校については、唐瀬原中学校と国光原中学校を統合し、町中央部に新中学校を新規整備する」と出ています。その後、「小学校については、どのような統合の在り方がよいのか、段階的な統合や小中一貫校も視野に入れながら、今後、具体的な検討を進めていく」。これ、本当に理解するの

がちよつと難しいんですよ。

中学校を中央部に新規整備すると言い切っているんです。その下に、小中一貫校も視野に入れながらと。私、これで視野に入れることはできないんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

○教育長（平野 博康君） この川南町立中学校の統合に係る基本方針でありますけれども、タイトルどおり、あくまで中学校の統合に向けた基本方針を策定いたしました。

ただ、先ほどからお話がありましたように、アンケート調査の自由記述のところに、中学校だけでなく小学校についても統合が必要でないとか、あるいは、今お話のありますように、小中一貫校を目指すべきではないかという御意見が多数ございましたので、中学校の基本方針ではありますけれども、やはり小学校のことについて触れないわけにはいかないかなというふうに判断いたしまして、今回の中学校の基本方針ではありますけれども、小学校についても触れさせていただいたところであります。

中学校の場合は、早急にやっぱり統合を進めていく必要があるかなというふうに認識しておりますけれども、小学校につきましては、5つの小学校のそれぞれの実情を踏まえて、どういう形の統合を進めていけばいいのか、やはり十分に検討する必要があるかなというふうに考えております。

あわせて、統合するとなった場合に、地域住民の方々の御理解も頂かないといけませんので、そのことも踏まえると、小学校の統合は早々には難しいかなという判断をしたところでございます。

議員が先ほど言われたのは、中央部に中学校を統合すると、小学校については小中一貫も視野に入れながらという、矛盾しているというようなニュアンスのことなのかなというふうにも思いますけれども、小学校についても早速、教育委員の勉強会をこの議会が終わった後にスタートしようかなというふうに考えております。先ほどからお話ししていますように、どういう統合の在り方がいいのか、段階的なことも踏まえ、小中一貫もその選択肢の一つということでございます。

したがいまして、中学校を建設すると、仮になった場合には、やはり小学校のことも想定した上での建設も視野に入れていかないといけないかなというふうには思っているところです。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 正直、三、四年前は強引に中学校建設を進められて大変なことだったんです。今のような教育長のお話を聞いていたら、本当に私たちの意見も聞いて、事を前に進められる。本当にありがたいです。

また、これは教育長がされたことで私も非常に感激したんですけど、小学校にアンケートを出されました。これで統合希望、5年、10年、もうちょっと長いあれしても、全体的で統合希望が70%近くのアンケート結果が出ている。私もそうだろうなと思うんです。今

の小さい子どもさんの親は、小学校の統合のことも考えざるを得ないんじゃないかと思うんです。

やっぱり一番、私が心配しているのが、中学校だけ建設しちゃったら、極端に言うと、小学校はもう、中学校を造るとしますよ。ウクライナの後、建築費がバーンと上がっているんですよ。70億、80億かかったとします。そしたら、もう10年、20年、小学校が造れなくなるんじゃないかという、その心配があるんです。小学生はほったらかしなのかという、そこですね。そこがありまして、今のお話を聞くと、話をよく聞いていただけるということで、今から、非常に前向きにお答えいただいて、ありがたいと思います。

そして、ちょっとこの前、説明会が改善センターでありました。何かあの説明を聞くと、あそこは図書館があって、文化ホールがあって、あそこに行くと中学生が学力が伸びるぞというようなイメージで話されるからね、私は待てよって。今、学力を上げなくて、今、今、川南の学力は物すごく低いんですよ。今、教育長就任して何を考えなきゃいかんかって言ったら、町内の中学校の学力ですよ。建物を当てるのはまだ後回しでいいです。学力をどうやって上げるかですよ。今上げなきゃ駄目ですよ。あそこに、新しい校舎に行ったら学力が上がるとかいうのは、これはインチキですよ。こういうのは駄目です。今上げなきゃ駄目だと思います。どうでしょうか。

○教育長（平野 博康君） 議員が今おっしゃってくださったように、本町の小中学校が抱える課題というのは、必ずしも中学校統合、小学校統合ではなく、たくさんございます。喫緊の課題の大きなものは、今言われた学力向上もその一つではないかというふうに捉えております。この学力向上については、教育委員会としても学校としても、全く何もしていないわけではございません。学校は、学校の子どもたちの状況を踏まえて授業改善をしてもらっておりますし、町教育委員会としてもその学校をサポートすべく、いろんな事業を行っているところであります。

ただ、なかなかそれが直結して結果に結びついていないというところは確かにございますけれども、今後ともその学力向上については進めていきたいというふうに思っております。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 今、子どもは急激な減少。5年後の数字を見てみると、本当に中学生は、今度、私立高校が無償化になるから、中学生からどんどん行きます。極端に言うと、子どものことを一生懸命考えている親、大学をちゃんと出したいという親は、私立に行かせますよ、これは。高校がもう無償化ですから。これが増えるとなると、中学生は5年後に100名ぐらい少なくなる、小学生は約160名ぐらい少なくなる。こんな事態が今起きているわけです。

ここで、私は、町民を選挙なんかでもずっと回ります。いろいろ話聞きます。一番聞くのは、小中一貫校を考えてくれということなんです。当たり前だと思うんです。子どもが

少なくなるんだから、「中学校だけ建ててどんげすつとか」と言われるんです。

そこで、今から校区説明会なんかでも、このことを、そして、この前の説明会でもありました。十文字の方が、多賀小はもう限界ですよと、きています。山本小、多賀小は複式学級が始まっていると思うんです。そして、やっぱり、もう小学校も中学校も建物が古いんですよ。それで、中学生だけ環境のいいところで、小学校は6年間古いまんまでやられるのかと。私は、自分の子が小学校に行くんだったら、教育長のところに文句言いに行きますよ。やっぱり、もうここまで来たら、4年後に中学校、今から計画しても4年後でしょ、中学校を建てるのは。そしたら、5年か6年後に小中一貫校を建てること、計画できますよ。

私は自分なりに調べました。場所です、問題は。場所が広いところだったらいいわけです。川南には広い場所が幾つもあります。あそこは狭いんです、中央部は。だから、小中一貫校はまあ難しいです。広いところだったら、小中一貫校は非常にメリットがあります。

小中一貫校のメリット、専門教科の勉強が、今、全国で一部始まっています。これ小中一貫校だったら、先生がいますから、非常に小学校の高学年の勉強は、学力はよそよりはるかに上がります。当然、小中一貫校、一つの学校ですから、給食室は一つ、プールも一つ、図書室も一つ。特に私はこのプールなんです。プールは、温水プールということも可能性はあると思います。今、7つの学校で大変なお金がかかっています。それを一つの学校にしたら、校長先生も1人でいい、教頭先生も1人でいい、保健の先生も1人でいいかもしれません。学校の事務の人も2人ぐらい。今は大変な数の管理者が各学校にいらっしやいます。

だから、そこ辺は小中一貫校にして、スクールバスなんですね。私は串間市に行って調べてきました。6つの中学校を統合するのに、大分、最初は文句が出ました。しかし、統合してから物すごく喜ばれています。スクールバスです。串間市の説明でいくと、一つの学校に1億円かかると。6つの学校がありましたから6億円。それを一つの学校にすると、1億円から2億円の間で済むと。だから、スクールバスを6台動かしています。そこ辺が統合したら、こういうスクールバスの導入で、どこに住んでいても、一番親が今心配しているのは、小学校の近くに住まんと通学で困るぞということが心配なんです。そしたら、どこに住んでもいいんですよ、スクールバスが回ってくれたら。旭ヶ丘だろうと、細だろうと、住むのに制限ないです。

そしたら、移住者にもこういう特典を売り込めます。どこに住んでもいいよと。スクールバスで川南は、そしてその専門教科の授業、それから温水プールもありますよ。そういうことも、メリットをどんどん訴えることが可能だと思います。

そして、今、小中一貫、教育長は大分前向きに考えていらっしやるから、質問をちょっと止めまして、次の場所のことでちょっと質問したいと思います。

今、町中央部と言っているんです。これは前からです。町中央部です。ここは、これは

今、私、役場の職員、聞いていると思うんですけど、若い人は知りません。ふるさと公園がありますね、あそこに口蹄疫の慰霊碑があります。あそこに、口蹄疫は何年前になるんですかね。（発言する者あり）15年たちますか。ありがとうございます。15年前、口蹄疫の後、長渕剛が来たんです。そして、もちろんお金は払いませんよ、無料で来て、私たち、口蹄疫で川南町民は本当にもう心が病んでたんです。もう絶望感なんです。もう次から次に口蹄疫が発生して、その後で長渕剛が来て、あそこで歌って、私たち町民に、希望と勇気、元気、それを与えてくれたんです。私は、この場所は聖地だと思うんです。聖地です。口蹄疫の慰霊碑がある、長渕剛が来て歌った、これを今の子どもたちは全く知りません。それを伝える聖地、これは必要だと思うんです。

そこに中学校はちょっとあり得ないし、なぜ中学校があそこに駄目かという、今、私はグラウンドゴルフをしているんです。グラウンドゴルフは、運動公園とかサッカー場では思いっきりぴしゃっとできないんです。もう凸凹で、大会もできないんです。ぜひあそここの芝生は、グラウンドゴルフ場なんかで利用できるようにしてほしいということ。

それと、前、東町長は私に約束してくれたのは、あそこに桜を植えて花見ができるようにしますと、そう言ってくれたんです。今の町長は別にこの約束どおりしなくてもいいんですけど、そういう、あそこで花見ができれば町民は楽しいんですよ。花見ができるところないんですよ、町内。よそのまちを羨ましく思うだけです。あそこで桜が咲いて花見ができると、なおいいなと思います。

そして、川南はスポーツランド構想というのがあって、もうキャンプの、サッカー、野球、キャンプがいっぱい来ていました。それがコロナの関係もあって減ったんですよ。それで、今、それをまた増やしたほうが、町の発展、商店街の発展に私は役に立つと思うけど、中学校を造ったら、社会人チームが野球のキャンプにはもう来ないと言われているんです。それぐらいやっぱりチームの人たちは、学校があると、ちょっと微妙に神経質になっているわけです。このことがあります。

それから、中央保育所の移転問題が発生する可能性があります。これも嫌ですね。

私が一番嫌なのは、ふるさと公園は高台なんです。あそこ今度、運動場にするかもしれないんです。下に校舎を建てて。あの高台の上に校舎を建てたら危ないですよ。大変なことが起きると思う。下に校舎とか体育館を建てると思うんです。高台のところは恐らく運動場だろうと思うんです。そうすると、その周りなんです、問題は。高台の上の周り。

○議長（中村 昭人議員） 禎明議員に申し上げます。

通告が、小中一貫校の優先を検討する必要はないかということなんです、ちょっと今、場所ってということに関しては、中央地についていう中なので、場所になると、ちょっとまた違う通告議論になるのかなというところなんです。ちょっとそこを踏まえてお願いします。

○議員（河野 禎明議員） それじゃ、ちょっと質問を少し変更します。また小中一貫に戻って申し訳ありません。

私は前から、旧国立療養所の裏、もったいないなと思うんです。もうやぶです。ここに小中一貫校を造ろうと思ったら、考えたら非常にいいことがあるんです。小中一貫校、あそこにできた。川南小のグラウンドが使えます。唐中の体育館、グラウンドが使えます。こんな、こんな設備がそろった学校は全国探してもないんじゃないかと思うんです。

だから、場所が、あそこは払下げ可能です。これは調べれば分かります。そのことは、教育長、今、私が言ったので、ちょっと感想を、少し申し訳ありませんが、お願い。

○教育長（平野 博康君） すみません。正直、何のお話をすればいいのかなと思いますながら、お話を伺っていたところでございますが、2点ほどちょっとお話しさせていただければというふうに思っておりますが。

1点は、先ほど高校の授業料無償化のお話がありました。これが実際私立もということとで動いていきますと、恐らく市内の中学校に通う子どもたちが増えてくるのかなという危惧をしております。今現在も朝の電車で結構中学生が乗っている状況でありますので、だからこそやはり魅力的な学校を造らないと、この学校に行ってみたいとか、この学校に行かせたいとか、そういう思いにならないのかなというふうに思っております。

中央部というお話もございましたけれども、やはり一番魅力的というか、子どもたちにとって学習環境が恵まれているのは中央部だという認識を持っているところでございます。

あと、一貫校の話でありますけれども、仮に今、小中一貫校を建設するということで進めた場合、開校が見込まれる頃が、児童生徒数が小中合わせて850から900規模の学校になりそうでございます。その見込みでございます。今後、児童生徒数が減少していくという中で、その規模の学校建設が果たして妥当なのかどうかというところは、やはり小学校の統合についてはほかの方法も考えられますので、そういった部分で十分な検討が必要かなというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長（中村 昭人議員） ここで会議の時間の変更について申し上げます。

会議規則第9条第2項により、本日の会議時間は一般質問の終了までと延長いたします。

○議員（河野 禎明議員） 本当に心配なのは、中学校を造ってしまったら、小学校はいつ造ってくれるんだろうかという心配なんです。それが解消されると、あれなんです。

小中一貫校の今話をしていたわけですね。私は、子どもが5年後でこれだけ減る、10年後は減るんですよ、もっと。やはり学校の部活みたいなものも、もっと考えるべきじゃないかと思うんです。例えば、今さっき私が言いましたけど、一つの学校で温水プールができたとすると水泳部ができます。そして、川南にはサーフィンの指導者が結構多いんですよ。サーフィンができる場所だから。サーフィンセンターもあるから、あそこをうまく改造すれば、サーフィン部もできる。特徴のある部ができる可能性があるんです。

唐中の横には町有地が大分あります。私は前から考えているんですけど、テレビで「S

ASUKE」という番組があるんです。SASUKEという番組を、例えばSASUKE部というのをここに つくったとします。あの大がかりな設備はしなくていいです。半分程度でいいと思うんです。SASUKE部をしたらSASUKEの練習が毎日できるっちゃということで、全国から50名近く来ると思います、子どもが。それぐらいのあれがあります、SASUKEには。今、中学生がどんどんやっています、練習を。そういうことも、いろいろ学校の未来については、教育長は非常に柔軟な頭をお持ちですから、考えていただけたらと思います。

そして、ちょっと建設で、私ちょっと今調べているんですけど、鉄筋で建てる高いんですよ。で、県産材の木材を使うと、補助率が今15%です。15%です。それが、もう一つ、木材の工法にCLTという最新の工法があるんです。それは集成材とか、今、特殊な技術で構造するやつです。それで学校を造ると、林野庁のホームページか何かで、2分の1、令和8年からその対象になります。これは工事費の2分の1が出ればで、思い切って小中一貫校も可能性があるんじゃないかと思います。

今そういう、教育長、そのCLTとかあのこと、教育長の資料の中で県産材の木材ということがあって、非常に私はうれしかったんですよ。このCLTという工法での2分の1は御存じでしたか。

○教育長（平野 博康君） 先ほどの、まず部活の件でありますけれども、今現在、部活動が地域移行に進行中でありますので、今後の部活動については、その指導者の関係がございまして、その状況を見極めていきたいというふうに思っているところです。

あと、その県産材の木材を活用したということにつきましては、基本方針の中にも整備方針の一つとして盛り込ませていただいております。ただし、個人的にはCLT工法というのは今初めてお聞きしましたので、また今後勉強していきたいと思います。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 最後になりますが、中学校問題は4年前から町を二分するようなことが起きていました。本当に当事者は大変だったろうと思います。

ちょっと私が気になるのが、去年の町長選で町長は全く中学校のことについて話されていません。今年の町議選、これも新人の立候補者の方で、私は中学校のことを話された人がいなかったんじゃないかと思うんです。私は、選挙のときは自分の考え、それを一番町民に訴えてやるのが、これが本当のあれだと思うんですよ。自分が考えていること。町長は、商工会長のときに中学校の建設推進を一生懸命やったわけです。

○議長（中村 昭人議員） 河野禎明議員に申し上げます。

通告書に従って質問をしていただきたいと思います。

○議員（河野 禎明議員） この質問はなしにします。

では、最後の質問、つながっていません。すみません。最後に、教育長にちょっとお願いします。教育長、もう分断が起きるようなことはしないでいただきたいんです。

それで質問を終わりたいと思います。ありがとうございます。

(午後 4 時 05 分 終了)